

琳 派

新しい造形とデザイン

京都工芸繊維大学 並木誠士

自然



絵画



琳派の造形① 鶴図



牧溪 観音猿鶴図のうち鶴図



狩野元信 花鳥図(部分)

狩野元信 花鳥図(部分)



狩野永徳 花鳥図(部分)

狩野永徳 花鳥図(部分)





俵屋宗達
鶴下絵和歌巻
本阿弥光悦書



料紙装飾の伝統
→デザイン

単純化された形態
平面性
連続性によるリズム感

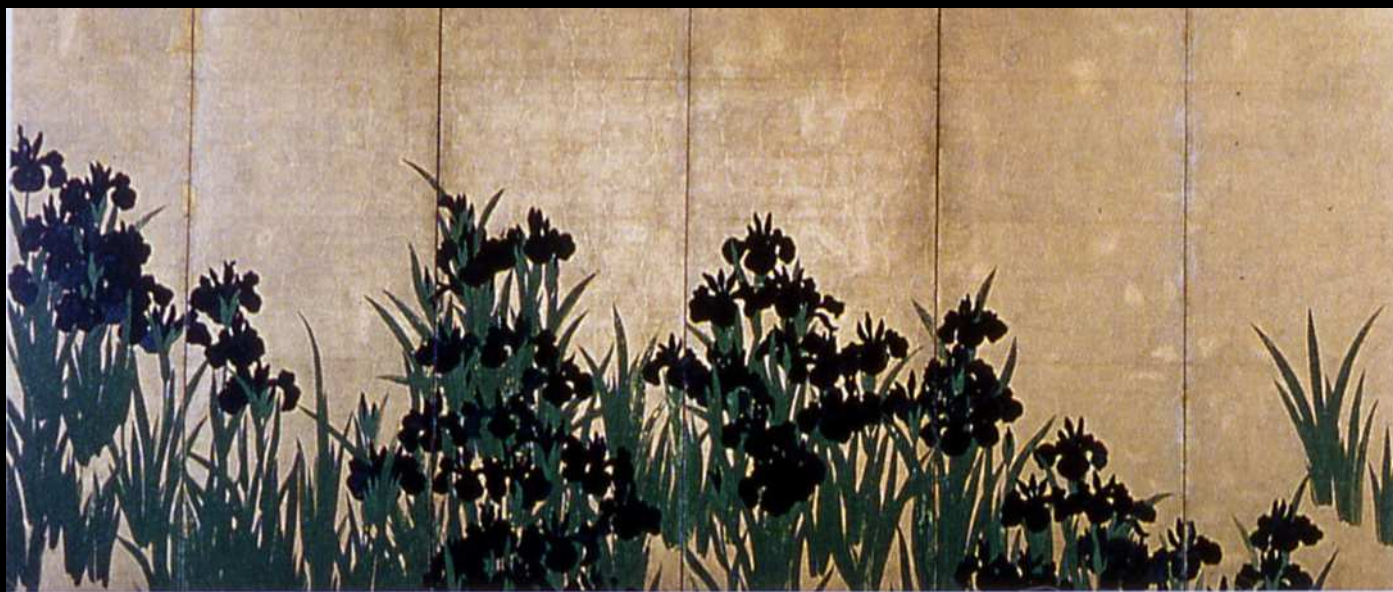
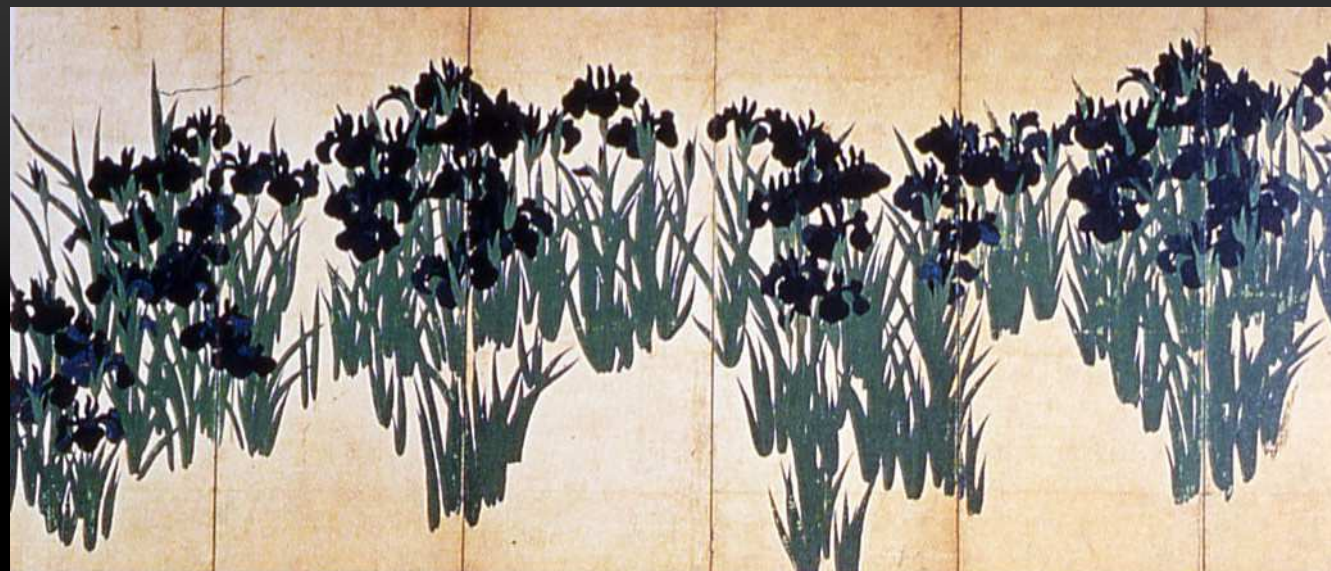






伝尾形光琳
鶴図

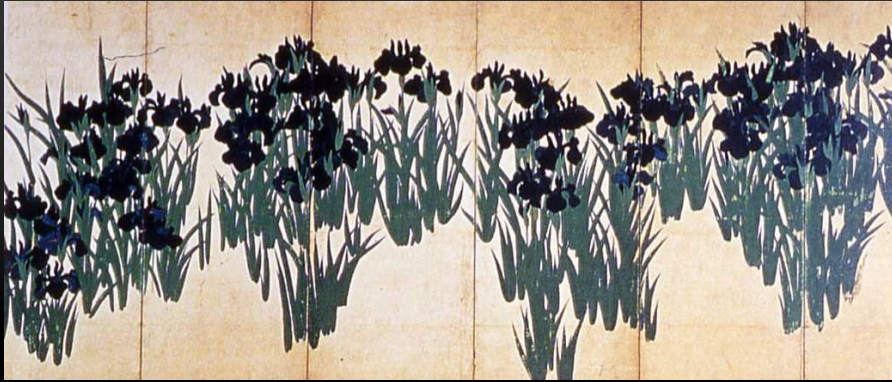
琳派の造形② 燕子花図



尾形光琳
燕子花図



長谷川等伯
松林図

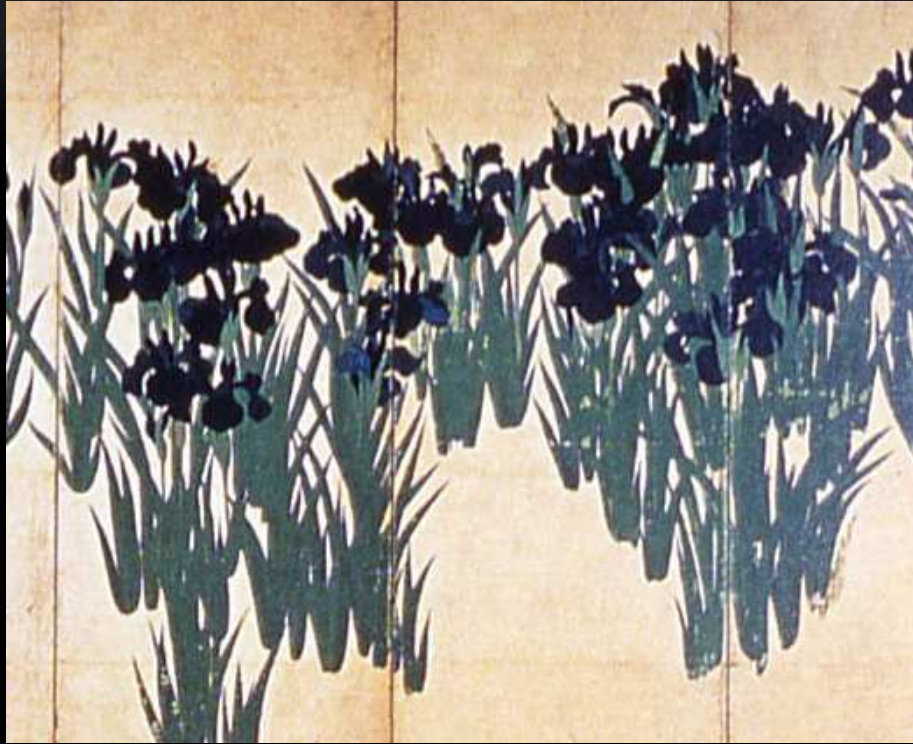


共通点

- 単一のモチーフ
- 単純化された色彩
- 連続性によるリズム感

相違点

- 空間再現の方法



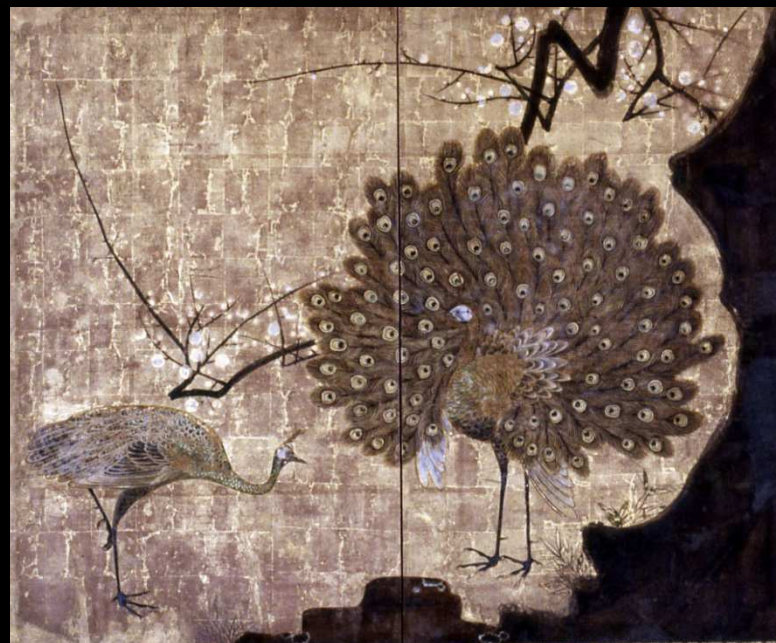
琳派の造形③ 孔雀図



尾形光琳
孔雀図

円山応挙
孔雀

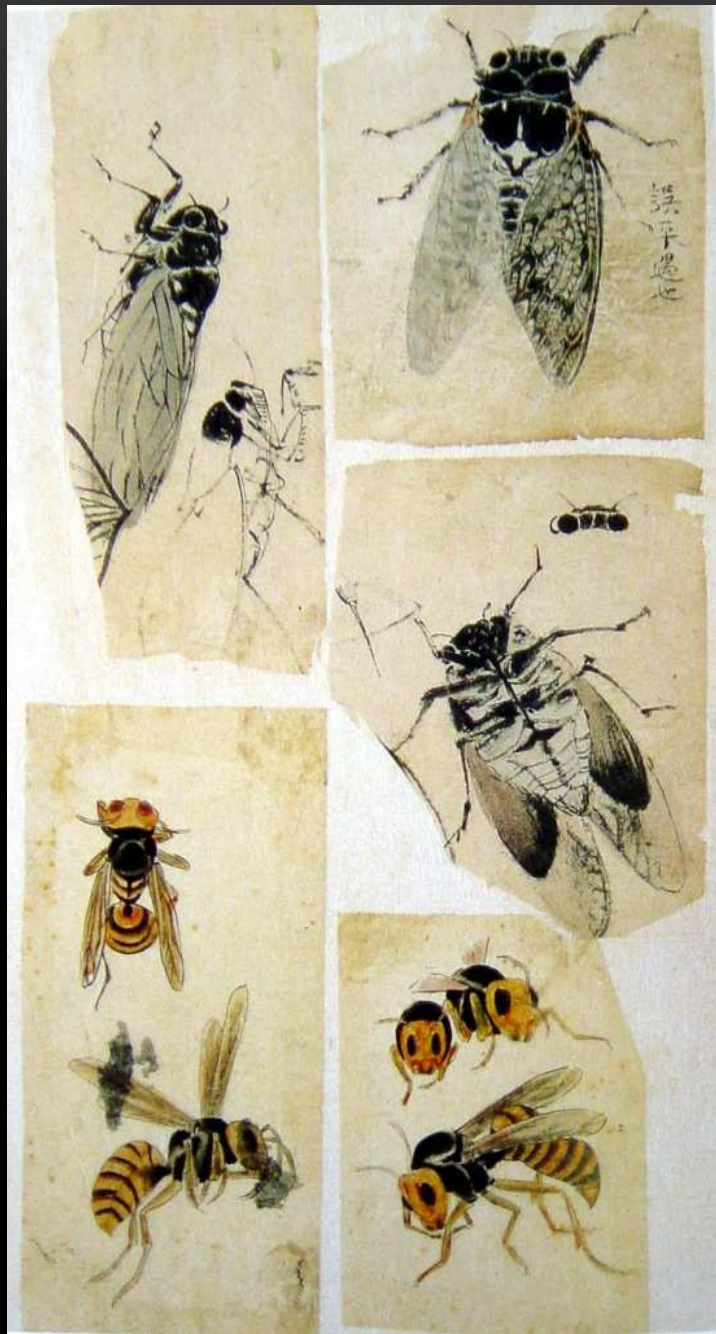




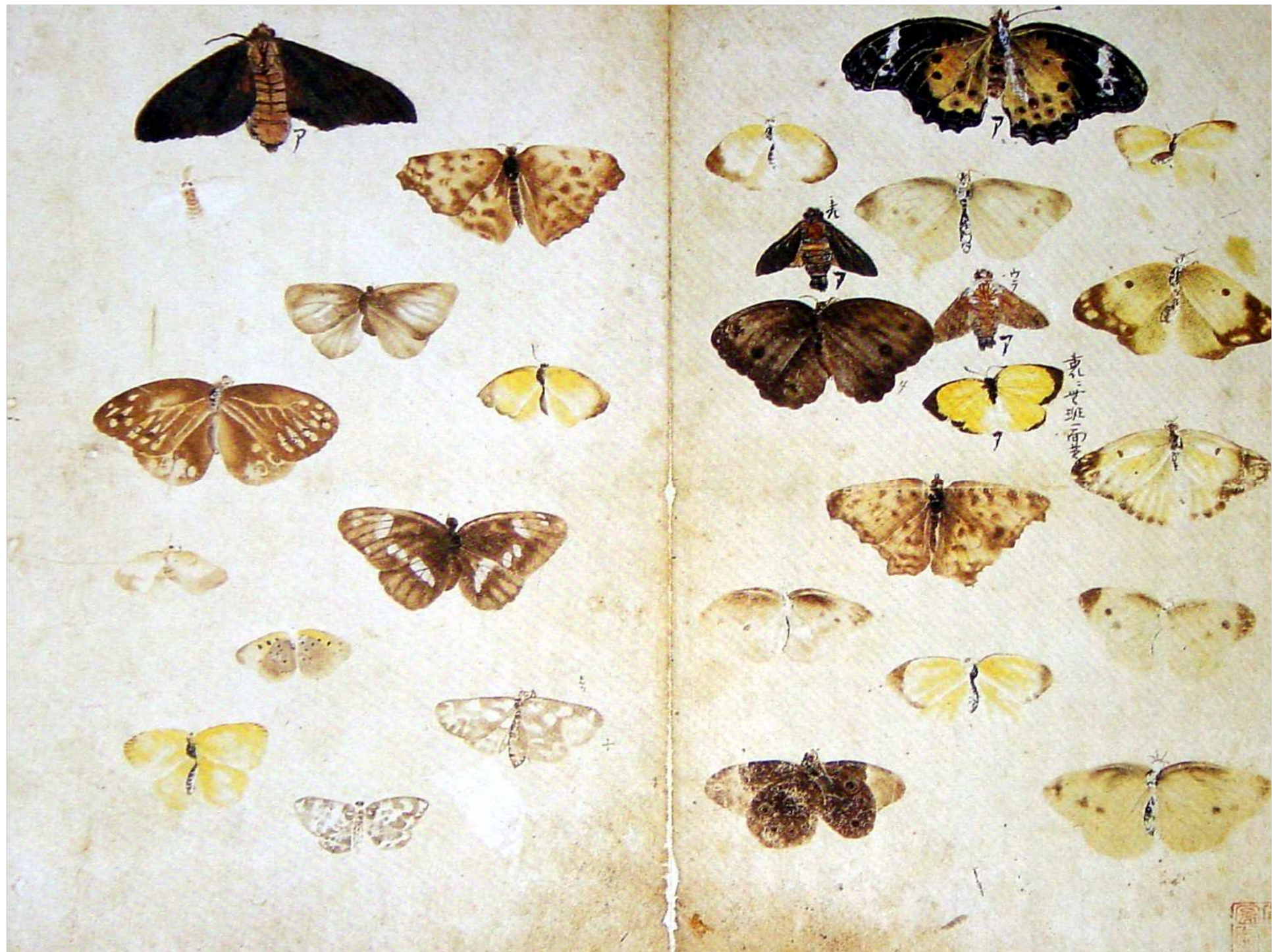
写生にもとづく

— 三次元性 —

— 平面性 —

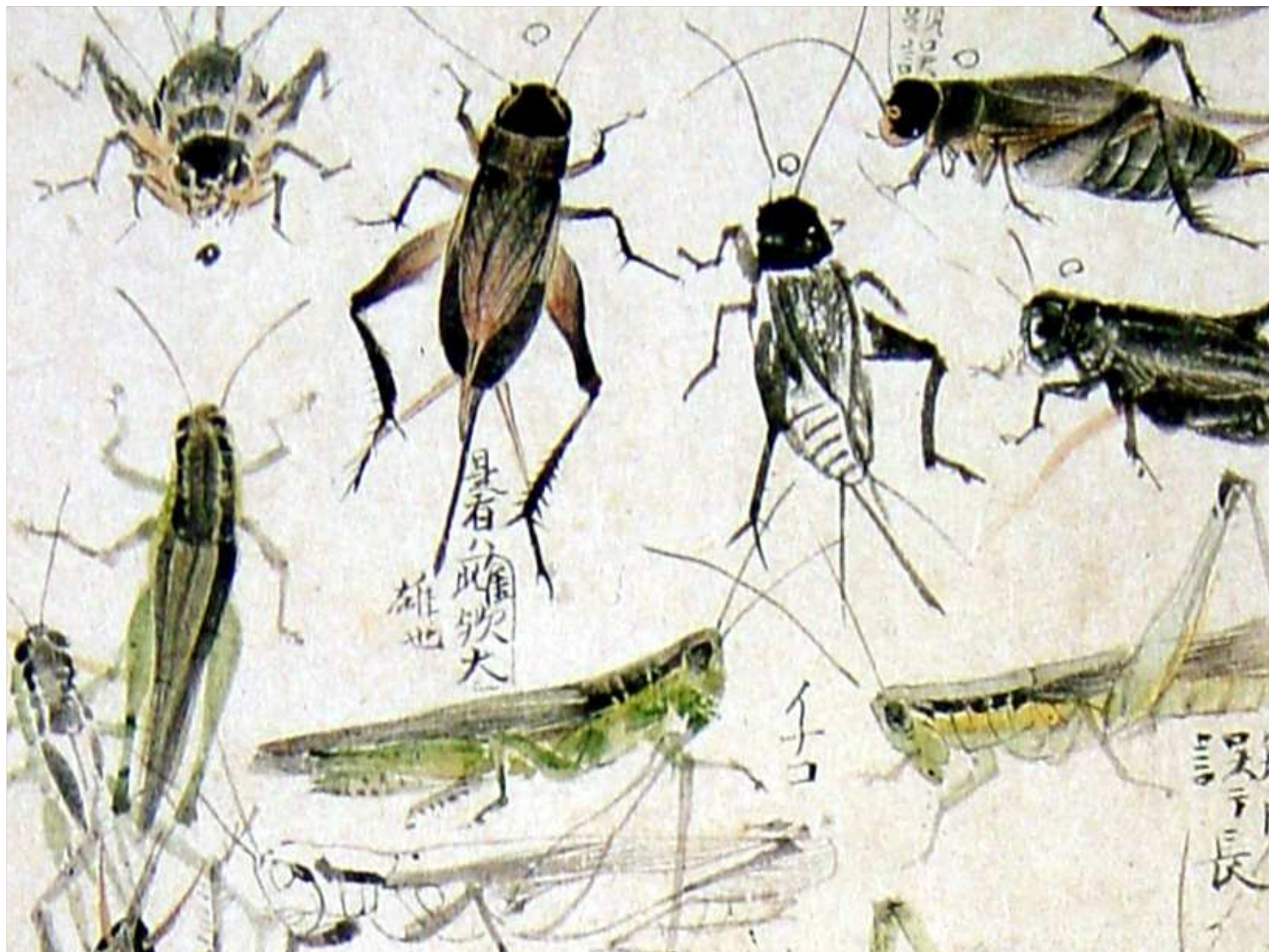


円山応挙
写生帖



東之世班二面





是看公雌大
雄也

イ子コ

長

神坂雪佳の琳派観「光琳の絵画と蒔絵」(『京都芸術』36、大正4年)

- 「意匠図案に就て観るに**光琳の鶴とか千鳥とか紅葉とか梅とか**云へば凡て独特の模様を形造って斯界の流行語となった位に爛熟の妙を極めて居るが、之を仕上げる迄には**古画の研鑽**に多大の努力を注いだばかりでなく**写生に辛苦**した事も亦一と通りでない、例へば邸内に草花を植ゑ込んで写生した如き、それも**応挙の行方と異って**光琳は光琳自身の観方を以て写生に努めた」
-



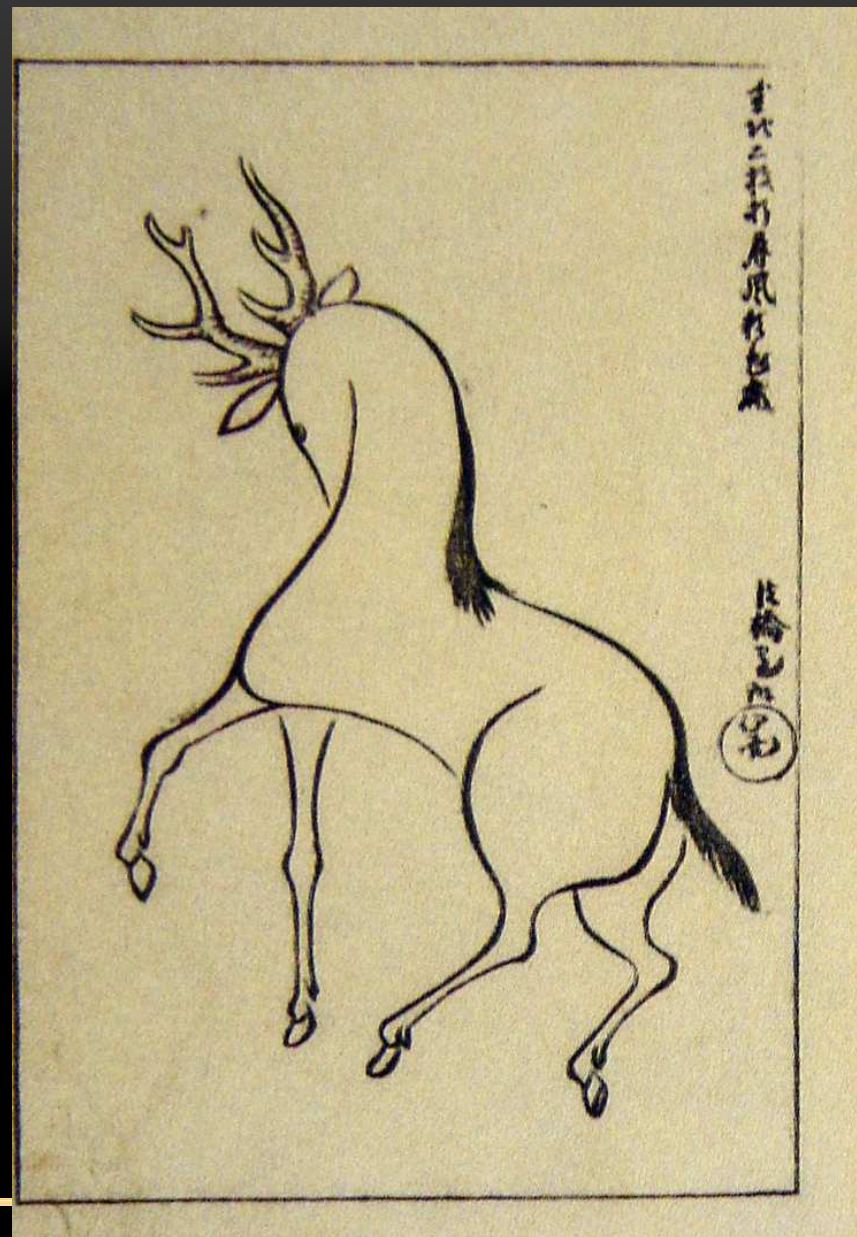
近代・現代への展開



神坂雪佳图案



Kamioka Yukichi



尾形光琳

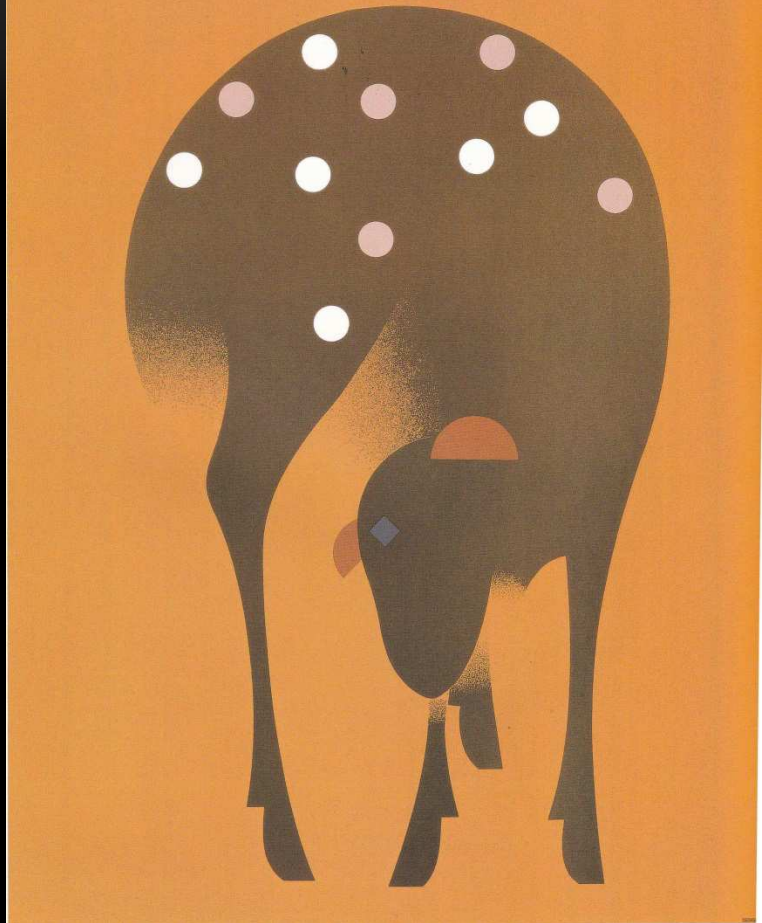


加山又造
群鶴図



加山又造
群鶴図

J A P A N



田中一光
JAPAN



俵屋宗達
平家納経願文見返